

松商学園高等学校 特別進学コース MAP の取り組みについて（放課後および土曜日）

【2021 年度入学生】

松商学園高等学校 進路指導部

本校の特別進学コースは昭和 60(1985)年に設置されました。設置当時は大人数の団塊ジュニア世代が高校に進学した時期であり、社会的な大学進学意識の高まりとの相乗効果により多くの進学実績を積み上げてきました。こうした進学実績の背景には、先進的な取り組みを積極的に導入し、全力で生徒の進路希望実現を支えた教職員の熱意と、設備充実等の教育資源の最優先投下、何より当時の生徒各自の多大な努力の継続がありました。

18 歳人口が最大であった平成 3・4(1991・1992)年を経て、平成 5(1993)年には特別進学コースは 2 クラスの編成となりましたが、その後は生徒急減期と公・私立高校での特進路線の一般化とが重なり、1 クラスあるいは 2 クラスの学習集団を形成して参りました。また、その指導方針はハイレベルな授業を行うと同時に学習合宿・放課後補習といった手厚い進学サポートで学力伸長をはかる方向の充実へと変遷しました。その結果として、平成 24(2012)年からは 8 時間授業および土曜日授業、そして海外研修の実施などの進学サポートを充実させ、多くの生徒を難関・中堅大学へと導きました。

しかし、この度の高大接続改革においては、従来の教育方法（知識および知識の運用能力を高める）の充実に加えて思考・表現・判断の各能力および主体性・多様性・協働性を高める必要性が指摘され、教育活動においても主体的・対話的で深い学びが要求されるようになりました。私達はこのような状況の中で、より多様でバランスのとれた高校生活を送ることが可能な教育体制を特別進学コースに導入いたしました。具体的には授業単位の精選により、放課後および休日の時間を確保し、部活動や社会活動への参加を可能に致しました。

一方で、いわゆる難関と言われる大学は選抜機能が高く（入学希望者が多く）、入学後の研究活動に必要な知識レベルが高い状況は変わりません。そのため、基本的な知識と知識の運用能力を高めることと、進路意識の成熟による学習意欲の喚起が必要です。従って、本校特別進学コースは従来まで取り組んできた進学サポートをさらに洗練させ、新たな視点による選抜に対応しうる能力を育成するためのプログラムを考え、「Matsusho Advanced course Program（通称 M.A.P）」と名付けて実施致します。

「M.A.P.」は授業終了後の放課後および土曜日に行います（土曜日は計画実施）。原則的に希望者を募り実施する形式を取りますが、多様な生徒同士の対話・共同作業による成長を期待するため、生徒の積極的な参加を強く望みます。加えて、部活活動において時間的余裕がある場合や、部活動以上に学習活動に軸足を定めたい場合も積極的に参加を求め、あるいは認めて参ります。

## 1、「M.A.P.」の概要

①放課後と土曜日は一連の取り組みとして考えます。

②取り組みの概念説明

- ・1年次および2年次は「塾の機能」を想定します。授業→補習+特別講座+自習→授業のサイクルを確立します。
- ・1年次より、進路意識の成熟に向けた取り組みを導入します。また、土曜日や長期休みには大学や民間などの様々な教育資源を活用します。
- ・生徒の状況に応じて M.A.P.の取り組みを高度化させていき、進路実現に向けた準備に移行し、学習支援はもちろんのこと主体性を持って協働した学びができる機会を作っていきます。
- ・3年次は「予備校の機能」を加え、より大学受験に向けた補習や対策講座を提供します。3年次の週末は、模擬試験に利用する形となります。

③取り組みの枠組み

- |      |             |                    |
|------|-------------|--------------------|
| ・1年次 | 「M.A.P.」第Ⅰ期 | [学習サイクルと進路知識獲得の時期] |
| ・1年次 | 「M.A.P.」第Ⅱ期 | [学問への意識の萌芽]        |
| ・3年次 | 「M.A.P.」第Ⅲ期 | [受験学力確立の時期]        |

## 2、「M.A.P.」の目的

①地域における本校特別進学コースの人材育成の使命

近年、本校の特別進学コースにおいては、誠実かつ真摯に学習活動に取り組んだ結果として地方国公立大学に合格するレベルに到達する生徒が多く見られます。こうした人材が地域の中堅リーダーとして活躍する未来に向けて、従来の進学サポートの長所を継続し、充実をはかります。

②大学入試に向けた学力育成

2021年より新たな大学入試制度に移行して、従来の大学受験に求められていた学力・能力に加えて、より思考力や読解力が求められるようになりました。特に新たに施行された「大学入学共通テスト」では、探究活動・学習過程を題材にした問題や、日常的な事象の問題、複数の情報をもとに思考する問題などの思考力重視の出題が多く見られました。これまでのセンター試験と比較して、情報量・読解量が増え、知識と知識の再現能力に加えて論理的な思考力・判断力そして的確な表現力が必要になり、批判的・創造的な視点も求められる形となりました。また、全ての選抜入試で活動履歴や志望動機の提示や、推薦系での学力評価などの新たな局面に対応しなければなりません。そのため、生徒一人ひとりの進路希望を実現するために、これらの能力を育成することを目標に放課後や土曜日を利用して学力向上の取り組みと総合的な学びを継続的に行っていきます。

### 3、「M.A.P.」の実施計画等

・放課後 M.A.P. (例)

※ 過去に実施した講座

	月	火	水	木	金
16:10 ～ 17:00	英語 実力養成英語 基礎英語	国語 評論演習 古文・漢文理解	自学自習	数学 基礎数学 受験対策演習	総合探究 探求活動
17:10 ～ 18:00	自学自習 個別指導	自学自習 個別指導	自学自習	自学自習 個別指導	自学自習

5月GW明けからの実施を予定します。実施内容については後日連絡します。  
理科・地歴公民は、状況に応じて実施します。

・土曜 M.A.P. (例)

	1 限	2 限	3 限
	9:10～10:00	10:10～11:00	11:10～12:00
4/24	国語 高校国語入門	英語 高校英語入門	数学 高校数学入門
5/8	国語 論理力徹底講座	英語 ALT 英会話	数学 プレ中間考査演習
5/22	定期考査直前対策 個別質問・指導講座	定期考査直前対策 個別質問・指導講座	定期考査直前対策 個別質問・指導講座
6/12	英検 2次面接対策	講演会：大学イノベーション研究所 所長 山内太地先生 「将来の進路の選び-大学ジャーナリストが語る大学選び-」	

月1、2回程度で実施する予定です。

今年度はコロナウィルスにより多くの活動が制限されたため、授業の補講中心の M.A.P. になってしまいました。次年度は、感染状況を踏まえて様々な学びを提供できる機会を設けていく予定です。

☆ 土曜 M.A.P. および 長期休業期間 特別 M.A.P. 第Ⅰ期, 第Ⅱ期(1,2年次実施) [検討中]

- ・ 定期考査, 模擬試験直前学習 ・ 勉強合宿 ・ プレゼンテーション練習
- ・ 大学・短大・専門学校の方による出張講義
- ・ 糸魚川静岡構造線 地学学習 in 糸魚川
- ・ 卒業生との座談会
- ・ 夢ナビライブ 2021
- ・ 「放課後留学 in 松商」 外人講師による特別講義
- ・ 「もっとスピーキング」 英語コミュニケーション専門の外部講師による特別講義
- ・ 「大しごと一く in 信州」 信州大学主催、県内企業の方、大学生とリアルな話を聞く機会
- ・ 全国高校教育模擬国連大会
- ・ JICA あるいは青年海外協力隊スタッフの特別講義
- ・ MAP in 東京 (2022年3月実施計画)
- ・ MAP in Malaysia&Singapore (2023年3月実施計画)

☆ 土曜 M.A.P. および 長期休業期間 特別 M.A.P. 第Ⅲ期 (3年次実施) [検討中]

- ・ 予備校講師により受験対策講座 (夏, 冬)
- ・ 活動報告書・志望理由書に向けた特別講座
- ・ 小論文入試対策
- ・ 面接対策講座

☆ 探究活動 M.A.P. [検討中]

高校生が学びを深め、その成果を発表して評価される機会として、英語スピーチ大会や科学の甲子園、数学甲子園、マスフェスタやサイエンスカフェなどがあります。探究的な学びに関しましても、クエストカップ全国大会などが開かれています。これらの発表機会の情報を示し、生徒の皆さんの希望に応じて教員がサポートし、深い学びに導く取り組みを計画しています。今年度は、2年の生徒が「第3回全国高校生 SR サミット FOCUS(主催：立命館宇治高校)」に、全国の高校生とオンラインでつながり、SDGs に関する取り組みについて話し合い、各学校の取り組み企画を発表しました。